

第3回那覇空港構想・施設計画検討協議会 議事概要

1. 開催日時

平成21年3月27日（金）10:00～10:30

2. 開催場所

沖縄県庁4階講堂

3. 出席者

(1) 構成員

内閣府沖縄総合事務局長

福井武弘

国土交通省大阪航空局長

片平和夫

沖縄県副知事

仲里全輝

(2) オブザーバ

内閣府沖縄振興局参事官（振興第三担当）

鈴木勝

(3) 関係者

内閣府沖縄総合事務局開発建設部長

吉永清人

内閣府沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所長

津田修一

国土交通省大阪航空局空港部次長

八木千津男

国土交通省大阪航空局那覇空港事務所長

菅野顕

沖縄県企画部企画調整統括監

上里至

4. 主な議題

- (1) 那覇空港構想段階に係る各委員会の取りまとめについて
- (2) 那覇空港構想段階P Iの終了について
- (3) 那覇空港構想段階の取りまとめについて

5. 議事概要

- (1) 事務局より、議事次第の議事に沿って各資料を説明し、その後、意見交換がなされ、構想段階P Iの終了及び構想段階の取りまとめについて、了承が得られた。
- (2) これにより、今後の施設計画を検討する増設滑走路案は、構想段階P Iに提示した滑走路増設A案（滑走路間隔1,310m）になった。
- (3) 本協議会における主な意見は、以下のとおり。
 - (イ) 構想段階P Iの多くの方に参加したなど、しっかりした取組ができたことは十分評価できる。
 - (ロ) 今後の事業実施については、早期供用を期待するとともに、環境面については、決められた諸手続きを踏まえて、着実に実施して欲しい。
 - (ハ) これまでの検討結果、お寄せいただきました方のうち増設A案に肯定的な方が約7割いること、及び、多くの市町村の市議会等からの要望などを総合的に勘案すると、将来の沖縄の発展のためにも増設A案が適当ではないかと考える。
- (二) 地元関係者の協力を得ながら、早期整備に向けて努力したい。

6. その他

本協議会後の記者会見での配布資料は、別添のとおり。

(配布資料)

平成21年3月27日

那覇空港における構想段階の終了及び施設計画段階の検討概要について

内閣府沖縄総合事務局
国土交通省大阪航空局

那覇空港構想・施設計画検討協議会（構成：内閣府沖縄総合事務局、国土交通省大阪航空局、沖縄県）が、那覇空港の抜本的な将来対応方策の実施に向けた具体的な取り組みとして、国土交通省航空局が平成15年4月に策定した「一般空港の滑走路新設または延長事業に係る整備指針（案）」に規定する構想段階の検討を国土交通省が平成20年4月に策定した「公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン」に基づき、那覇空港技術検討委員会（委員長：屋井鉄雄 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授）及び那覇空港構想段階PI評価委員会（委員長：上間清 琉球大学名誉教授）を設置して実施してきた。

この結果を受け、同協議会での検討内容及びPIで寄せられた県民等の意見等を踏まえ、那覇空港の将来対応方策として、構想段階PIで提示した「増設A案（滑走路間隔1,310m）」が適当であると判断し、構想段階を終了するとともに、引き続き、同整備指針（案）に規定する施設計画段階に移行して、同段階の検討を実施することとする。なお、同段階の概要は、下記のとおり。

記

1. 検討主体

施設計画段階の検討は、「那覇空港構想・施設計画検討協議会」が引き続き実施する。（構成：内閣府沖縄総合事務局、国土交通省大阪航空局、沖縄県）

2. 検討内容

構想段階で選定された滑走路増設案について、具体的な施設の配置等の計画案をPC（パブリック・コメント）実施して策定する。

(了)